



大阪市立 育和小学校

- 所在地 杭全4-10-12
- 電話番号 06-6713-1253
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741696>
- 校長 原 直樹
- 標準服 あり
- 集団登校 あり

携帯用



スマホ用



学校概要

本校は、今年度で創立143年を迎え、長い歴史と伝統の中で、地域の皆様からも愛されてきた学校です。子どもたちが大切にされている地域でもあり、子どもたちを楽しませる活動やイベントがたくさん実施されています。育和小学校では、以下のようなことを目標に教育活動を行っています。

教育目標

力強く生きぬく力をはぐくむ
教育活動を推進する。

めざす子ども像

1. 自ら学び、自ら考える子（主体性・判断力）
2. ちがいを認め合い、支えあう子（豊かな情操）
3. ねばり強く、最後までやりぬく子（耐性）
4. いのちを大切に、たくましく生きる子（強いからだ 健康）

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- いじめへの対応
- 不登校への対応
- 問題行動への対応
- 児童虐待への対応
- 防災・減災教育の推進
- 安全教育の推進
- 道德教育の推進
- キャリア教育の充実
- 人権を尊重する教育の推進
- インクルーシブ教育の推進
- 多文化共生教育の推進

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 言語活動・理数教育の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の推進
- 英語教育の強化
- 全市共通テスト等の実施と分析・活用
- 体力・運動能力向上のための取組の推進
- 健康教育・食育の推進

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTを活用した教育の推進
- 働き方改革の推進
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組
- 学校図書館の活性化
- 教育コミュニティづくりの推進

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	114	83	107	103	93	99	599
学級数	4	3	3	3	3	3	19
特別支援学級							12

全国学力・学習状況調査結果（令和7年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数	理科
平均正答率(%)	61	56	50

【国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全領域において、大阪市平均、全国平均を下回った。特に「話すこと・聞くこと」においては、全国平均を約10%下回った。毎日の様々な学習の中でグループでの話し合い活動を増やし、目的に応じて意見を整理し伝える力、相手の意見を聞いて考えを深める力を育てていく必要がある。

【算数】

「数と計算」「変化と関係」の領域においては、大阪市平均、全国平均を上回った。「図形」「測定」の領域については、大阪市平均、全国平均を下回り、課題が見られた。図形や測定を実際の操作・説明・活用する学習を充実させ、感覚的理解と論理的思考をともに育てていく必要がある。

【理科】

「エネルギー」「生命」「地球」を柱とする領域においては、大阪市平均、全国平均をともに下回った。観察・実験や飼育・栽培などの体験的な学習を充実させ、記録や考察を通して生命の共通性や多様性への理解を深めていく必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和7年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	男子	16.83	20.91	33.50	34.73	47.59	9.30	154.95	22.75	54.23
	女子	15.30	18.12	35.94	32.61	33.10	9.72	146.00	13.23	51.91

本校では、健やかで身体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、生涯にわたってスポーツに親しむことができる子どもの育成に向けて、学校教育アンケートの「体育の学習や外遊びが楽しい」の項目における肯定的な回答の割合を90%以上にすることを年度目標に設定してきた。各学期に「投げリンピック」、「跳びリンピック」、「走りリンピック」と称した「投」「跳」「走」の運動に重点的に取り組み、学習時間、休み時間に関わらず、意欲的に取り組む子どもの育成を図ってきた。その結果、1月に実施したアンケートでは、全校児童の92%の子どもが肯定的に回答している。今年度の5年生に関しては、本調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目における肯定的な回答の割合は、男子97.7%、女子86.8%であった。「運動やスポーツをすることにきょうみや関心があるか」の項目における肯定的な回答の割合は、男子90.9%、女子84.9%であった。運動習慣の定着に向けたこれまでの取り組みが、運動に対する意欲向上へもつながっている。

美しい教育環境の整備

「美しい環境が、豊かな人間性と確かな学力を育む」という教育理念のもと、日々の清掃活動・環境整備に励んでいます。平成16年（2004年）に完成した学校ビオトープ「自然の空間」では、さまざまな植物や生物を観察することができます。



ピア・サポート活動の推進

互いの人権を尊重し、良さを認め合う豊かな心を育むことを目的とした教育活動に取り組んでいます。異学年、なかよし学級、国際クラブとの交流を通じ、一人一人が互いに助け合う温かな人間関係を築くことをめざしています。



読書活動の推進

子どもたちに大人気の図書室には、ボランティアさんが来校され、絵本の読み聞かせなどをしてくださっています。朝の読書タイムや、家庭での読書推進にも力を入れて豊かな心を涵養しています。



育和タイム（朝学習）

始業前の朝の時間を有効に活用して、火曜日は「English Time」、水曜日は「読書タイム」、金曜日は「チャレンジタイム」として、英語に慣れ親しんだり、読書や視写・百マス計算にチャレンジしたりすることで、子どもたちのさらなる学力向上をめざす取り組みを行っています。



学力と体力の向上

全学年家庭学習教材、自主学習ノートを活用することにより、自主学習の習慣を確立し、学力の向上を図っています。また、なわとび週間やかけ足週間、育和タイム（20分休憩）を通して、体育科の学習時間以外にも身体を動かす体育的活動の充実に努めています。



家庭・地域との積極的な交流

PTAやはぐくみネットの皆さんの活動が盛んで、登下校の子ども見守り活動をはじめ、様々な行事が企画されています。まだ「ミニバスケットボール」や「フットボール」「キックベースボール」「ソフトボール」「ソフトバレーボール」など課外のクラブ活動も盛んです。

